

令和 2 年度事業計画

令和2年度事業計画について

I 事業方針

本連盟は創立70周年を契機に策定・公表した「新世紀戦略アクションプラン」にある、3本柱の計画策定として、

- ①社会貢献は、人と人・地域と地域との交流を促進し人口減少対策の醸成
 - ②組織強化は、次世代を担う青少年の体力の向上と心身の健康の保持増進と他者を尊重する精神力
 - ③組織推進は、確立された足腰の強い体制づくり
- を計画の基本として事業への取り組みを実施してきた。

第2次事業推進方策として、スポーツが果たすべき社会的使命のグランドデザインを体系化し、2020をスタートとして、5年間の対策期間を設定した。ステージの構図として「基盤づくり」「振興」「推進」「育成」「普及」の5つの方策を掲げ、サポート事業として国民が安全で安心して、楽しみ・親しみ、誰とでも・いつでも・どこでもできる地域に根ざした軟式野球を通して、健康で豊かな身体と心を育て活気に満ちた社会づくりに寄与することを、戦略として積極的に進めて行く。

事業推進のために、加盟団体をはじめ、関係機関、団体等との連携体制を強力に図って行く。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会および、ワールドマスターズゲームズ2021関西の成功に向けた取り組みに全面的に協力をして行く。

II 事業内容

(公1) 軟式野球大会開催事業

各種軟式野球大会のカテゴリーの、学童・少年・女子大会に係る開催については障害予防、育成主義を軸とした対策を講じて行く。一般の大会については競技力向上と大会の認知度アップに努めて行く。また、生涯スポーツとしてのシニア大会には健康享受としてのメディカルサポートにも積極的に取り組んで行く。

今年度は、競技者の帰属意識と登録の一元管理、登録事務の効率化を目指し、競技者登録システムを導入して行く。

昨年同様、審判員の技術力、人間力向上のためのスキルアップ研修会を開催して行く。公認コーチ・記録員・放送員の研修を一層充実したものとして行く。

(公2) 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

各種軟式野球大会普及促進助成及び後援関係の事業を行い、普及振興を促進して行く。

指導者養成と広報活動に関する事業については、積極的かつ重点事業として実施をし、効果を上げて行く。特に広報活動については広報誌及び機関誌を発行し、広く普及活動を推進して行く。

(収1) 野球用具検定事業

用具公認社との円満なる契約を更新する。本連盟が所有する各種標章等の無断使用、不適切な使用等がないよう適切な管理を行い、ブランド価値の向上を図る。

また、公認用具の普及事業は、公認球普及振興のために、支部へ購入費用を助成し、促進を図って行く。

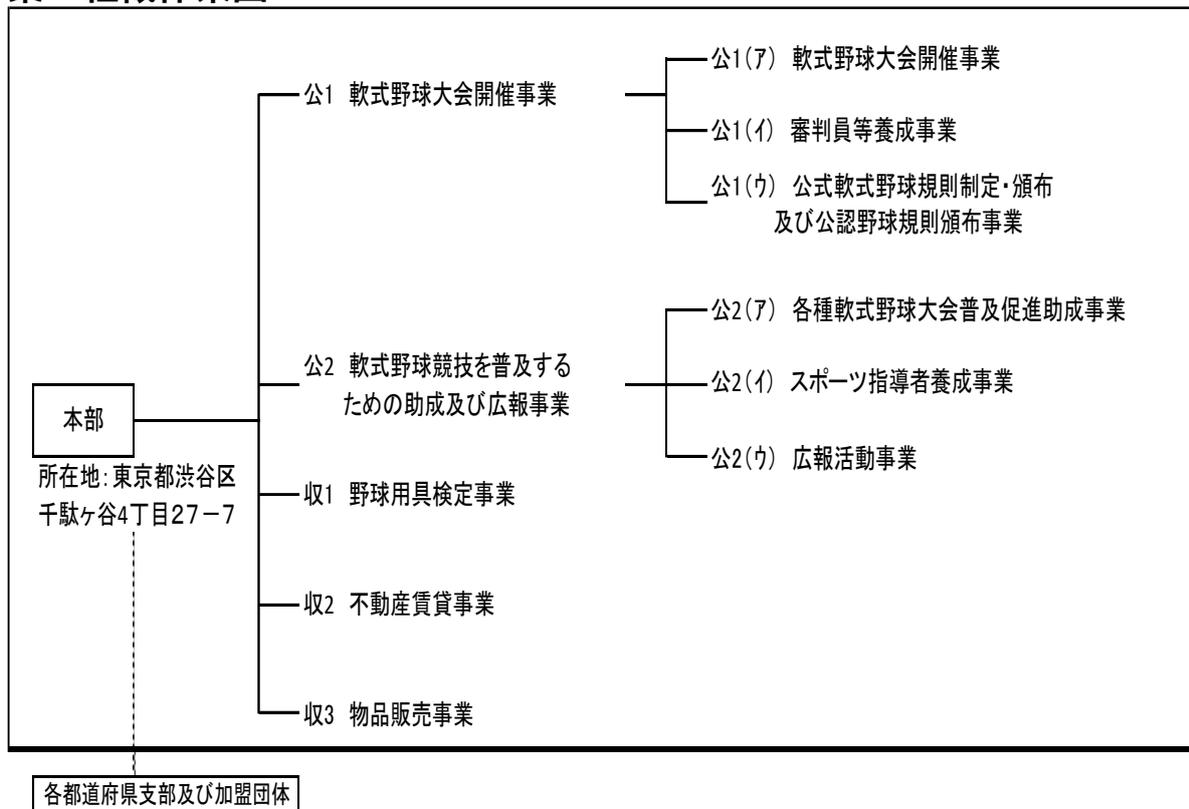
(収2) 不動産賃貸事業

軟式野球会館の資産活用と利用促進を図っていく。

(収3) 物品販売事業

制定物品に係る商標活用と販売促進を図っていく。

事業・組織体系図



1. 公 1 軟式野球大会開催事業

(7) 軟式野球大会開催事業

(1) 下表のとおり、令和2年度各種軟式野球大会を開催する。

令和2年度 各種全国大会等日程 (案)

大会名	会 期	主管 支部	参加 チーム数	会 場
天皇賜杯第75回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント	9月11日(金)～ 16日(水)	岡山	56	倉敷市、総社市、岡山市
高松宮賜杯第64回 全日本軟式野球大会	1部 9月18日(金)～ 21日(月)	東京	32	町田市、八王子、府中市、 昭島市、稲城市、立川市
	2部 9月4日(金)～ 7日(月)	北海道	32	帯広市、幕別町、音更町、 芽室町
高円宮賜杯第40回記念全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月17日(月)～ 23日(日)	新潟	53	新潟市
文部科学大臣杯第11回全日本少年春季軟式野球大会 日本生命 トーナメント	3月21日(土)～ 26日(木)	静岡	56	静岡市、焼津市、島田市、 富士市、沼津市、裾野市
第37回全日本少年軟式野球大会	8月16日(日)～ 20日(木)	神奈川	16	横浜市
第5回全日本中学女子軟式野球大会 (SPトーナメント)	8月20日(木)～ 26日(水)	京都	49 (予定)	京都市、宇治市、城陽市
第75回国民体育大会 (燃ゆる感動かごしま国体)	成年 男子 10月8日(木)～ 12日(月)	鹿児島	32	鹿児島市、日置市、薩摩川 内市、出水市
第42回 東日本軟式野球大会	1部 5月29日(金)～ 6月1日(月)	三重	28	四日市市、亀山市、伊賀市
	2部 5月8日(金)～ 11日(月)	群馬	28	前橋市、伊勢崎市、安中市
第42回 西日本軟式野球大会	1部 5月22日(金)～ 25日(月)	香川	26	高松市、さぬき市
	2部 6月5日(金)～ 8日(月)	広島	26	広島市、呉市、尾道市
水戸市長旗 第28回東日本軟式野球選手権大会	10月30日(金)～ 11月3日(火)	茨城	28	水戸市、笠間市、土浦市
第24回 西日本軟式野球選手権大会	11月6日(金)～ 9日(月)	島根	27	松江市、安来市
第65回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月6日(金)～ 9日(月)	愛知	13	豊川市、新城市
日本スポーツマスターズ2020	9月18日(金)～ 21日(月)	愛媛	32	松山市、今治市、新居浜市、 西条市、上島町、内子町
NPB ガールズトーナメント2020	7月31日(金)～ 8月6日(木)	愛媛	49 (予定)	松山市、今治市、四国中央 市、西予市、内子町
ス ポ ニ チ 杯 第4回全日本軟式野球大会	未定	未定	4	未定
第3回全日本シニア軟式野球大会 (ドックラッセトーナメント)	6月6日(土)～ 8日(月)	岡山	40	倉敷市、総社市
第42回 全国中学校軟式野球大会	8月17日(月)～ 20日(木)	岐阜	25	岐阜市、各務原市、大垣市
第42回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月6日(木)～ 9日(日)	岩手	16	釜石市、大船渡市、陸前高 田市、山田町

(2) 競技者登録の一元管理、登録事務の効率化を目指し、競技者登録システムを導入する。

(イ) 審判員等養成事業

下表 (1) (2) (3) の審判養成講習会を実施予定

(1) 技術研修員講習会

対象地区	期 日	場 所
全 国	2月22日(土)～3日間	埼玉県・さいたま市

(2) 技術指導員地区研修会 (ブロック別指導員)

対象地区	期 日	場 所
北海道・東北地区	2月29日(土)～2日間	宮城県・仙台市
関東地区	2月29日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市
北信越・東海地区	2月29日(土)～2日間	岐阜県・大垣市
近畿・中国・四国・九州地区	2月29日(土)～2日間	岡山県・岡山市

(3) 審判ブロック講習会 (ブロック別)

対象地区	期 日	場 所
北海道	5月22日(金)～3日間	北海道・小樽市
東北	3月20日(金)～3日間	福島県・福島市
関東	3月13日(金)～3日間	神奈川県・厚木市
北信越	10月23日(金)～3日間	石川県・金沢市
東海	11月13日(金)～3日間	三重県・津市
近畿	11月21日(土)～3日間	奈良県・橿原市
中国	3月20日(金)～3日間	山口県・岩国市
四国	10月23日(金)～3日間	高知県・高知市
九州	3月13日(金)～3日間	福岡県・久留米市

(4) 全国審判技術指導員スキルアップ研修会の実施

審判技術指導員の資質向上と審判組織の活性化のため、研修会を実施する。

対象地区	期 日	場 所
全 国	12月5日(土)～2日間	埼玉県・北足立郡伊奈町

(ウ) 公認軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

『競技者必携 2020』(公認軟式野球規則)は62,000部を頒布予定。また、2020年公認野球規則は、49,000部の頒布を予定。

2. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

(7) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

- (1) 軟式野球の全国的な組織である軟式野球関係団体に対し、全国大会開催の助成金を交付する。また、その他全国的な大会を主催する団体等に対しては大会の名義後援を行い、学童から古希にわたる生涯野球として軟式野球の普及を図る。

(イ) スポーツ指導者養成事業

競技者の快適なスポーツライフの構築を図り、スポーツ・インテグリティの確保のため、その推進の一翼を担う指導者の養成を、全日本軟式野球連盟の重点事業として行う。

指導者の質及び指導力の向上、情報交換やネットワークづくりなど指導者相互の交流を図る目的で

(1) (2) (3) の各講習会を実施する。

(1) 日本スポーツ協会公認コーチ 3 養成講習会専門科目講習会

	日 程	場 所
前期：	11 月(予定)	東京都内(予定)
後期：	12 月 18 日(金)～20 日(日)	国立オリンピック記念青少年総合センター

(2) 成長期のスポーツ傷害予防・指導者講習会

地 区	開催地	日 程	会 場
北海道	北海道	令和元年 11 月 10 日(日) ※実施済	旭川市永山公民館
北信越	新潟県	令和元年 11 月 17 日(日) ※実施済	長岡市さいわいプラザ
四 国	香川県	令和元年 12 月 1 日(日) ※実施済	サンメッセ香川
近 畿	和歌山県	令和元年 12 月 7 日(土) ※実施済	田辺スポーツパーク
中 国	山口県	令和元年 12 月 7 日(土) ※実施済	ユーピーアールスタジアム(宇部市野球場)
東 海	岐阜県	令和 2 年 2 月 2 日(日)	大垣市情報工房
関 東	東京都	令和 2 年 2 月 8 日(土)	国立オリンピック記念青少年総合センター
東 海	三重県	令和 2 年 2 月 9 日(日)	農業屋コミュニティ文化センター(松阪市民文化会館)
九 州	長崎県	令和 2 年 2 月 9 日(日)	長崎県立総合体育館(アリーナかぶとがに)
東 北	福島県	令和 2 年 2 月 15 日(土)	福島県青少年会館

*令和元年 11 月～令和 2 年 2 月にかけて 10 会場で実施および開催予定

令和 2 年 11 月～次年度にかけての実施日程は未定

- ① 前記 公 1 - (イ) の(2) (3)および公 2 - (イ) の(2) の各講習会、研修会は、(公財)日本スポーツ協会(以下「JSP0」という。)公認スポーツ指導者(コーチ 1、コーチ 3)資格の更新研修として位置付けされている。
- ② 令和 2 年度 JSP0 公認コーチ 3 養成講習会(共通科目講習、JSP0 担当・専門科目講習、全軟連担当)の受講者の募集は全軟連が行う。受講生募集は、令和 2 年 2 月より実施予定としており、女性スポーツの推進の観点から女性指導者に対する募集を重点的に行う。
なお、全軟連が担当する専門科目講習は令和 2 年 11 月～12 月に開催予定としている。
- ③ 令和 2 年度 JSP0 公認コーチ 1 養成講習会は、都道府県体育協会が都道府県支部(連盟)と調整のうえ共通及び専門科目講習会を計画実施する。(都道府県体育協会と要協議)
なお、今後もコーチ 3 養成講習会同様、積極的に実施する方向で各都道府県支部の協力をいただきたい。

(3) 日本スポーツ協会公認コーチ 3 有資格者への研修会の実施

公認コーチ 3 資格取得者間の情報交換と、有資格者としての意識の向上、レベルアップを目的として研修会を実施する。

(ウ) 広報活動事業

(1) 連盟ホームページの活用

連盟 HP のコンテンツ強化、動画配信、一球速報などを積極的に行い、大会開催中以外でも関

覧数が上がるよう、工夫をしていく。

各種全国大会におけるデジタルスコアシート方式導入を図り、公式 Facebook や Instagram での情報発信の強化・促進を引き続き行う。

(2) 広報誌の発行

連盟機関誌「全軟連 NEWS」を創刊する。学童・少年登録選手向け広報誌「キャッチボール」を発行・配布する。

(3) 海外における軟式野球ボールの認知度向上への普及活動

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西大会の軟式野球競技への参加国増加を目的に、海外での軟式野球ボールの認知度向上を図るため、アジアを中心に普及活動を行う。

3. 収 1 野球用具検定事業

ボール、バット、ヘルメット、キャッチャーマスク、プロテクター・レガースそれぞれについて用具の検定を行う。次世代ボールに適した用具の推進を実施するため、情報収集を行っていく。

4. 収 2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の 1 階、2 階、5 階スペース、及び駐車スペース 3 台分を引き続き賃貸する。

5. 収 3 物品販売事業

役員・審判員バッジ及びワッペン、役員帽子、審判ベルト等の制定物品を販売する。制定物品は、都道府県支部からの注文によりのみの販売とし、商標の無断使用を防ぐ。加盟支部の褒賞品として使用できる、連盟マーク入りの賞状用紙の販売を併せて実施する。

6. その他連盟が推進する事業・活動

(1) 職業野球退団者の本連盟復帰

職業野球退団者の連盟復帰申請に対し、資格審査を実施する。

(2) 表彰関係

①表彰委員会規程による連盟の功労者を選出し、評議員会の席上で表彰する。

②読売新聞社主催 日本スポーツ賞へ競技団体別最優秀賞チームを推薦する。

(3) 開発と途上国への軟式野球用具寄贈について

各支部ならびに一般の方々の協力をいただいて野球用具を収集し、野球途上国への用具寄贈を引き続き実施する。

(4) 第 11 回 BFA U12 アジア選手権 日本代表チーム派遣

BFJ および NPB エンタープライズの侍ジャパン事業として 12 歳以下 (U12) の日本代表チームを編成し、アジア選手権へ派遣する。